



その時、貴方はどうするⅢ

株式会社 リスク・マネージャー
代表取締役 西久保 博信

公益財団法人 日本防犯安全振興財団からの講師依頼で平成28年12月8日「滝頭小学校地域防犯拠点連絡会」「滝小安心・安全見守り隊」を対象とした合同研修会、平成29年9月30日、「世田谷区立松が丘小学校」体育館に於いて「親子で学ぼう! 今日から使える護身術」令和元年5月27日(月)品川区の私立「青陵中学・高校」教職員60名を対象に「学校内外での安全対策」と題する講演をおこなった。

■「学校内外での安全対策」レジュメ

1. 安全という字の語源
2. 安全の気・目・手*
3. リスク感受性を磨け*
4. 防犯環境設計とは
CPTED (Crime Prevention Environmental Design)
①被害対象の強化 ②接近の制御 ③視認性の確保
④領域性の確保
5. 犯罪者の嫌う4要素
1. 音 2. 光 3. 時間(手間) 4. 人の目
6. 犯罪企図者の思考(新入窃盗犯)
・怪しまれにくく、捕まりにくい。
・人どろりが少なく、人目につきにくい。
・簡単に入り込めて、金目の物があり、逃げやすい。
7. ①K・Y・T? ②H・T? ③T・B・M?
8. 「三重大事故原因」
・知らなかった67% ・出来なかった7% ・やらなかった26%
9. レビンの法則(行動原理)
(9-1) 五感から得る情報
①視覚(%) ②聴覚(%) ③嗅覚(%) ④触覚(%)
⑤味覚(%)
(9-2) 供応(協応)と最適行動は(判断⇒行動は人によって異なる)
10. 「ヒューマン・エラーとは」



11. 「安全心理学の登場」
(11-1) 「注意ってなあに?」
(11-2) しかれば「不注意とは?」
12. 「不注意の発生原因」
①意識水準の低下 ②意識の混乱(錯覚、錯視)
③意識の中断(途切れ) ④意識の迂回
(12-1) 意識水準の低下
・視覚 20歳時を100% → < 50歳時 68%(暗反応65%)
・聴覚 20歳時を100% → < 50歳時 65%
・平衡力 20歳時を100% → < 50歳時 60%
●事例研究「東名日本坂トンネル事故」
(実験1) 上から落ちてくるものは避けられない。
13. 人の思考は「先入観」「思い込み」「伏線」「残像」等に影響される(実験2)
●事例研究「富士山の大落石」「1980年(昭和55年8月14日)」
・物凄い集中力 ・イチロー選手と金魚の話
14. 「大阪池田小学校の悲劇」
・体内の血液量・止血・椅子の活用・傘の活用・非常ベル
15. 「煙を背にするな!」

標語「煙は貴方より速い」は何故使われなくなったか? 「煙死」の悲劇、千日前デパートビル火災。歌舞伎町明星56ビル火災。

16. 「消火器の使用手順」「安全ピンを抜く」のは何番か?
①消火器を火点まで搬送する ②消火位置に降ろす(火点から3mは離れる、折膝)。③安全ピンを抜く。④ノズルを火点に向ける。⑤レバーを強く握る。⑥火面に直接放射する。

- *1 消火器に表示されている使用法は①安全ピンを抜く。②ノズルを火点に向ける。③レバーを強く握る。
- *2 安全ピンを空中で抜こうとするから失敗する。「降ろして」折膝の姿勢を取ってから安全ピンを抜く。この指導を徹底しなければならない。

これだけの内容を1時間という限られた講演時間で何処まで伝えられたか?

- ・本日のセミナーで印象に残った内容を教えてください。
- ・本日のセミナーで生徒に教えたことは 1、2、3、
- ・安全対策について本日のセミナー以外で知りたい内容がありますか?
- ・その他(何でも)

アンケート結果から、本日のセミナーで一番印象に残った内容は事例研究「富士山の大落石」1960年(昭和55年8月14日)富士山の吉田口須走で直径1~2mの岩石50~60個が落石、1,000mを一気に転がった、このため八合目から六合目の登山道にいた12人が死亡、29人が重軽傷を負った事件。地元大月の商店街から参加していた夫婦と小学校5年生の男の子三人が父親の「逃げるな! 岩の方を見る、一列になれ! 両手を肩に! 先頭がお父さん、真ん中が男の子、一番後がお母さん、岩を見ろ! で回れ右をした為お母さん先頭、真ん中が男の子、一番後がお父さん、これが良かった、「いいか! 俺の言うとおりに飛ぶんだ! 右へ飛べ、左に飛べ、そのまま姿勢を低くしろ!」なんと3個目の岩は頭の上を超えて行ったという。行動心理学者がこの親子三人の集団行動分析をしたところ出た結論は「物凄い集中力」とのことだった。

二番目が「大阪池田小学校の悲劇」でした。本事件の内容は別項で報告するが、何故児童8名(1年生1名、2年生7名)が死亡。児童13名、教諭2名が傷害を負った。

この傷ましい事件の裏に「体内の血液量」は体重に比例するという知識を持った人が少ないという現実問題がある。人体は体重1kg中80mmℓを占めるのが血液の重さである。1kg=1L=1,000mmℓ $W \times 0.08 = \square L$ その人の血液量は体重×0.08(係数)を掛ければ算出できる。小学校1・2年生の体重は20Kg位なので総血液量は1.6L、急速に1/3失うと死に至る。ゆっくりでも1/2失えば失血死となる。牛乳瓶2本を超える出血事故は致命傷となるのである。学校側の組織的な救命活動(止血)、迅速な通報連絡(119番110番)、避難誘導、搬送措置が全くなく死亡した8名の児童は20分前後も放置されてしまったのだ。

三番目が「煙を背にするな!」標語「煙は貴方より速い」は何故使われなくなったか。「煙死」の悲劇「千日前デパートビル火災」「新宿歌舞伎町明星56ビル火災」火災に伴う煙は、水平移動0.8~1.2m/s位であるから人が歩く速度より遅い。ところが垂直(縦)に動く速さは3~5m/sに達するという。従って水平移動の煙までやみくもに恐れるなということから現在「煙は貴方より速い」は使われなくなった。所が高層化するビル群、迷路のような地下街にあっては煙が一番怖いのである。

1972年(昭和47年5月13日)大阪ミナミの繁華街千日前デパートビルの3階、婦人肌着売り場付近から22時頃出火約9時間燃え続け2F~4Fを全焼。7Fのアルバイトサロン「プレイタウン」の客ホステスなど118名(日本のビル火災史上最大の死者)48名が重傷を負った。原因は配管工事の電気工事監督が投げ捨てた煙草の火が化繊の衣類に燃え移ったためとみられる。解剖の結果一酸化炭素の量は致死量を下回っており、燃えた化学繊維などから発生した「有毒ガス」が死の要因となったことが確実となった。石油製品が燃えると発生する有毒ガスを含んだ煙を吸い込むと血液中のヘモグロビンと化学反応を起こし血液が動かなくなり(循環作用がストップ)死に至る。この千日前デパートビル火災で亡くなった118名中96人が「焼死」ではなく「煙死」と発表するようになったのはこの火災が初めてである。

石油製品が多量に有り密閉空間である、現代のビルは火災になると有毒ガスを含んだ煙が多量に出る。従って逃げ遅れによる焼死よりも「煙死」が怖いのである。しかも重傷として救急車で病院に搬送されても全身の血液を入

れ替えるという対応は病院の輸血対応力に限界がある事から大きな問題となっている。日本のビル火災史上多数の死者を出した火災の一番が千日前デパートビル火災 118 人、二番が熊本の大洋デパート火災 105 人、三番がホテルニュージャパンの 33 人と入れ替わった新宿歌舞伎町明星 56 ビルの 44 人である。特に焼失面積が僅か 160㎡であるのに死者を 44 人出した明星 56 ビルの火災は「煙死」の怖さを物語っている。

■「煙に背を向けるな」

煙は温度が高い、上に登る、天井からだんだん下がってくる。風上から風下へ流れる。空調を止めてもビル内には「気流」という流れに乗って移動する煙に背を向ける事は風下へ逃げる事だ、逃げる道が見つからない場合行き止まりに追い込まれてしまう。

■「煙と向き合ったら目の高さで判断するな、低い姿勢をとれ」

煙は天井にぶち当たり密度が濃くなって段々下がってくる。低い姿勢をとって視線を下げる。煙の下をくぐると風上に出られる。

■「普段から大きめのハンカチーフを持って、これで鼻腔を防護して」

大きめの布で鼻腔をふさぎ、呼吸を極力少なくして。

「通り魔殺人(無差別殺人・拡大自殺)」

「事故快樂」ないし「社会に対する復讐」の為、面識のない他人を殺傷する人のことを指す。拡大自殺とは、自分ではなく社会や世間のせいで自分は人生に絶望することになったと考え復讐願望を持つ人物が、社会や世間を巻き添えにして引き起こす自殺のことをいう。また行きずりの暴行事件などを「通り魔的犯行」と呼ぶ場合もある。

「通り魔殺人事件と凶器」

①池袋通り魔殺人事件、1999年(平成11年)9月8日

午前 11 時 40 分頃、東京都豊島区東池袋の東急ハンズ前で、23 歳の男が包丁と金槌で歩行者を襲い、2 人が(66 歳女性と 29 歳女性)が死亡し、6 人が重軽傷を負っ

た。犯行動機は、人生に絶望し、またどうしようもない環境的な不平等「真面目な人がさらにさらに苦しむ一方で、遊んで楽をしていられる身分の人がいることに嫌気がさした」と供述している。

②下関通り魔殺人事件、1999年(平成11年)9月29日

午後 4 時 25 分頃、レンタカーに乗った当時 35 歳の運送業の男が JR 下関駅東口の歩道を車ごと横断し、ガラスのドアを突き破って駅構内の自由通路に侵入、そのまま売店や多数の利用客棟の存在する駅構内を 60 m 暴走して 7 人を撥ねた。その後車から降り、包丁を振り回しながら改札を通過し、2 階のプラットホームへと続く階段を上る途中で 1 人を切りつけ、プラットホームに上がってから更に 7 人を無差別に切りつけた。この結果、5 人が死亡、10 人が重軽傷を負った。男は駅員に取り押さえられ現行犯で逮捕された。

③大阪教育大学付属池田小学校事件 2001年(平成13年)6月8日

大阪教育大学付属池田小学校に凶器(包丁)を持った男(T、当時 37 歳)が侵入し、次々と同校の児童を襲撃した。結果、児童 8 名(1 年生 1 名、2 年生 7 名)が殺害され、児童 13 名・教諭 2 名に傷害を負わせる最悪の事件となった。死刑確定から 1 年近く後の 2004 年(平成 16 年)9 月 14 日午前 8 時 16 分、大阪拘置所で T の死刑が執行された。

④秋葉原通り魔事件、2008年(平成20年)6月8日

12 時 30 分過ぎ、東京都千代田区外神田 4 丁目の神田明神通りと中央通りが交わる交差点で、2 トントラックが西側の神田明神下交差点方面から東に向かい、中央通りとの交差点に赤信号を無視して突入、青信号を横断中の歩行者 5 人を撥ね飛ばした。このトラックは交差点を過ぎて対向車線で信号待ちしていたタクシーと接触して停車。周囲の人々は最初は交通事故だと思ったが、トラックを運転していた男は車を降りた後、道路に倒れ込む被害者の救護に駆け付けた歩行者・警察官ら 14 人を、所持していた両刃のダガーナイフで立て続けに殺傷した。

さらに、この男は奇声を上げながら周囲の歩行者を次々に刺して逃走。事件発生後まもなくして万世橋警察署秋葉原交番から駆け付けた警察官が男を追跡し警棒で応戦、最後には拳銃の銃口を男に対して向け、ダガーナイフを捨てるよう警告した。それに応じナイフを捨てた男を非番でたまたま居合わせた蔵前警察署の警察官とともに取り押さえ、現行犯逮捕にて身柄を拘束した。これらはおよそ 5~10 分間程の間の出来事だった。事件当日は日曜日で中央通りは歩行者天国となっている区域だった。この日も多くの買い物客や観光客でごった返している中の凶行であり、事件直後に多くの人々が逃げ惑い、また、負傷者が横たわる周囲が血の海になるなど事件現場はさながら戦場の様相を呈し、男は他にもナイフを 5 本所持しており、トラックで撥ねられた 5 人のうち 3 人が死亡・負傷 2 人、ナイフで刺された 12 人中、死亡 4 人・負傷 8 人。まさに白昼の惨劇であった。

⑤マツダ本社工場連続殺傷事件、2010年(平成22年)6月22日

広島市南区のマツダ本社宇品工場にて当時 42 歳の男が 12 人の従業員を次々と撥ね、1 人が死亡、11 人に重軽傷を負わせる事件が発生。犯人は「マツダに恨みがあった。秋葉原のような事件を起こしてやろうと思い、工場内で車を止めて、振り回すつもりで包丁を持って行った」と話していることがわかった。

青陵中学・高等学校の「学校内外の安全対策」講演から一夜明けた 2019 年 5 月 28 日午前 7 時 40 分頃、神奈川県川崎市多摩区登戸第一公園付近、カリタス小学校のスクールバス停留所でスクールバスを待っていた小学生を両手に刃物を持った男が 19 人を襲い、最初に児童を送って来た 39 歳の男性を背後から刺し、近くに居た 40 代の女性と子供達を次々と襲った。この事件で、小学 6 年生の女兒と最初に襲われた 39 歳の男性の 2 名が死亡、警察は 28 日夜、事件後に自ら首を切りつけ死亡した男について、川崎市麻生区に住む岩崎隆一容疑者(51)と特定したことを明らかにした。

「凶器を持った相手と対峙した時」

●「間合い(まあい)」

いつでも相手を攻撃し、相手からの攻撃に最も対処しやすい距離であり、各人各様一定不変の物ではない。自分は相手に近く、相手は自分より遠くなるように、間合いを取れ。これは自分からは攻撃しやすく、相手からは攻撃しにくい間合いを取る事。即ち、自分の間合いで戦えということだ。

●「半身の姿勢(はんみの姿勢)」

右半身→右肩を、左半身→左肩を引いて相手に対して身体を斜めに構え、防御し易い姿勢をとる。

●「体捌き(たいさばき)」

前捌き(まえさばき)→半身の姿勢を保ち一步前に継ぎ足で踏みこむ。後捌き(うしろさばき)→半身の姿勢を保ち一步後ろに継ぎ足で後退する。相手の姿勢をくずしたり、自分の姿勢をくずされないように速やかに身体のコントロールを図ること。柔道の神永昭雄先生のモットー「気配り、目配り、体捌き」である。

●「長もので対応せよ」

凶器を所持する相手に対しては、いたずらに組みつくことを避け、先ず凶器を打ち落とすとか、て離させることに全力を尽くし、身近に有るもので役に立つと思われるものは、何でも利用すべきである。



●「木製警戒棒の両手操法」

制服が変わる前の警察官が腰に吊っていた「木製警戒棒」あれは威力があった。「櫂」製で、長さ 60cm、直径 3cm、重さ 320g の円棒である護身用具の基準である。新制服は帯革が上着の内側に入るため 60cm の警棒が吊れなくなり三段式に伸縮する金属製の特殊警戒棒が採用されている。この木製警戒棒の操法に「第一両手操法」というのがあがるが、「槍」「自衛隊の銃剣道」のような「突き

の武道」がみられなくなった昨今、凶器を所持する者に対し、「長もの」を手に対応する一番有効な体捌きと信じるものである。

●「木製警戒棒(傘・長もの等)」の第一両手操法

①左足を一步踏み込みながら、水月(みぞおち)雙手突き。(気合い、エイ)



②右足を一步踏み込みながら、下から水月を突き起す。(気合い、ヤー)



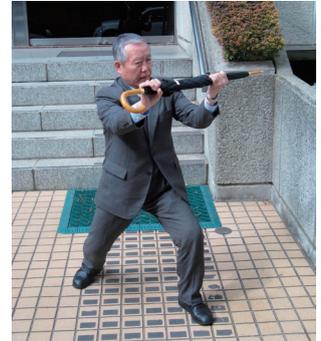
③左足を進めながら、左手握りの位置を下げつつ左上方に擦り上げ、両手で相手の右鎖骨に振り下ろす。(気合い、エイ)



④右足を、進めながら、左手握りを元の位置へ、右手握り位置を少し上げ、45度の腰の回転で警棒手前の先端で相手の上腕部を引っ掛ける。(気合い、ヤー)



⑤左足を進めながら、警戒棒を水平にして、体当たり、相手を壁に押し付けて制圧する。(気合い、エイ)



①は「エイ」②は「ヤー」③は「エイ」④は「ヤー」⑤は「エイ」

「エイ」「ヤー」「エイ」「ヤー」「エイ」

「水月」「下から水月」「袈裟がけに両手で打ちおろし」「横から引っ掛けて」「体当たり」

秋葉原の事件があった日(2008年6月8日)午前中は雨だった、長い傘を持った人がたくさんいた。傘もこういう使い方をすると、有効な「長もの」になる。

大阪教育大付属池田小学校には椅子が一杯あった。椅子も持ち方によって相手との間合いがとれる。教諭3人が三方向から迫れば……。



----「その時あなたはどうするIII」終わり----

■西久保博信(にしくぼ・ひろのぶ)

明治大学(文学、経済、政治専攻)卒、元自衛隊レンジャー。総合警備保障入社。帝国警備保障取締役、リスク・マネージャー設立、ダライ・ラマ14世警護要員教育(延べ10回、於インド)、北京オリンピック聖火リレー(長野市)の警備解説で延べ9回TV出演、富士ゼロックス防災コンサルタント、日本セキュリティスクール専任講師・顧問、全日本セキュリティ・サポート協会理事長、(一社)日本安全保障・危機管理学会「安全保障・危機管理士」養成講習講師、柔道八段(2017.4.30日昇段)日本マスターズ柔道協会 副会長。セキュリティ・危機管理教育実績(平成29年12月25日現在)教育人員延べ98,500人、出張教育研修・講演延べ3,400回(日)



株式会社リスク・マネージャー
代表取締役 西久保 博信
(公益社団法人日本防犯設備
協会認定資格 総合防犯設備士)

お問合せ: <http://risk-mng.com>